〈基本情報〉

													_							
利	被保险番	食者 号	000	00123456		年齢	OO歳	生年月日	昭和	OO年O	30日 営	性 男 男 口 女	$] \ [$	11-	現確認	ま日	〇〇年 〇月 〇日 作成日	OO年 O	月 〇日	
	被保险) 強者	~ ~ ~	_ ++		要介	············· ì護認定	要支援		要:	 介護		1	作	所事業		居宅介護支援事業所〇〇	,0		
用	氏 名		O7	ズ			当にO)	1 • 2		1 • 2 • 3		4 • 5		成		格	介護支援専門員 ・地域包括支援センター保健師等			
者									4.0.				1	者	氏	名	00 00			
	住	所				起	逑谷市越ヶ谷4-2-1			l					 連約	各先	0 4 8 - 000 - 0000			
\vdash	<u> </u>													<u> </u>	l					
保	確認	日		年	月	日														
保険者	F 5						評価欄													
	氏	名								1F ⟨= 시┰ キ	* + <i>+</i>	上がり、認知	+4k 4h.							
く総	合的物		,							などでき		こかり、認知 具体的にご記		*						
さい。											福祉用具の現状の利用状況と	改修後の	想定							
												改修前	改修後							
1	Ⅱ田 老 /	万色	体状況	令和〇〇年11月に廊下で転倒し入院。右大腿骨頚部骨折 12月20日に退院。室内は杖でゆっくりではあるが、家 屋外は歩行器が必要。								†折により人工肯頭 家族の見守りのも ──────			育後、 ₩	•	●車椅子			
一 个	ישמיי	カオ	144人のし														●特殊寝台			
											ご家族の介護状況サービスの利用状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						●床ずれ防止用具			
															具体		●体位変換機			
											EJI-	こ記入べたさ	ر ، د				●手すり			
				上 用土	- 帰 落	71 L L	ト自星	排洲上	7 ※の	介助は主に	上里の	ー 事が行って	-112	ζ.			●スロープ			
	介記	蒦状	況				7と同店。		●歩行器											
																	●歩行補助つえ			
																	——●認知症高齢者徘徊感知機器			
				長男の	妻の介	助と見	見守りに。	より何と:	か生活・	できている	が、						●移動用リフト			
生活動作や家事(調理)を含め自分でできることはしていきたい。											●腰掛便座									
					できることは自分で行なっていきたいとの思いを支援していく。 築年数の長い家屋で障害物も多いが、できるだけ安全に生活できるように改修を行												●特殊尿器			
	宅改作),									ょう							
	用有は どう変		生活を	玄関」	玄関上がりかまちの昇降、入浴、排泄の際に動作が不安定になり、転倒をすることがあ										●簡易浴槽 					
l '	こ ノ 灸	. / L / S	_0.//	る。また、床材が畳の居室では、足を引っかけることが多くなってきた。 転倒が怖いため一人ではあまり動かなくなっている。												●その他	_	_		
				転倒か怖いため一人ではのより馴かなくなっている。 必要箇所を改修することにより、ひとりでできることも増え、																
				介助者の負担も減り、より安全・快適に生活できるようになる。																
																		1 1 1	1 11	